

パールボウルトーナメントレビュー

惜しくも決勝進出ならず

vs. ハリケーンズ

オービック 34-0 ハリケーンズ スコアでは圧勝するもミス多発

2月に新チームが始動してから約2ヶ月間、選手たちはひたすらトレーニングとポジション別の基礎練習に取り組んできた。日本一になるのに最も必要なことは“ひとりひとりが強くなること”と考えたからだ。パールボウル1回戦、ハリケーンズとの試合は戦術、戦略といった部分よりも“できることを徹底的にやる”“1対1の勝負にこだわる”ということに重点を置き、リーグ戦であまり出場機会のなかった選手やルーキーたちも積極的に起用した。オフェンスではQB 藤澤、WR 松田、阿南、萩山、江川、ディフェンスではルーキーのDB 尾野、三宅、DL 加藤良など若手の活躍も見られたが、一方でミスや反則が多発し、4つのターンオーバーを奪われるなど、課題も多い試合となった。

チーム活動としては「東京ドーム1万人プロジェクト」が始動。携帯メールに速報メルマガを配信したり、チームに関するアンケートに答えていただいた方にプレゼントを渡すなどの試みが行われた。



vs. 富士通フロンティアーズ

オービック 24-29 富士通

拮抗したシーソーゲーム。ディフェンスが粘れず逆転負け

パールボウル準決勝の相手は富士通フロンティアーズ。昨年のリーグ戦では7-21で負けた相手である。特にライン戦では攻守共に圧倒され、キッキングでTDを1本取ったもののオフェンスは完封された。今年はシーズン開始からフィジカルアップに取り組んできたこともあり、昨年の敗戦から自分たちがどれだけ成長できたのかを証明する絶好の機会となった。

オフェンスは2Qに負傷した龍村に代わったQB 藤澤が好調。オプションとショートパスを軸にリズムのあるオフェンスを展開するも、ディフェンスが富士通の多彩な攻撃に苦戦。前半を17-16で終了した。

後半も互いに追加点をあげ拮抗した試合が続く。24対22でリードしていた4Q、QB 藤澤が投げたTDパスをエンドゾーン内でインターセプトされる。そこからパス中心の富士通オフェンスを止められずに24-29と逆転された。残り時間2分35秒、再逆転を狙ったオービックオフェンスだったが、なんと痛恨のスナップミス。

vs. アサヒビールシルバースター

オービック 37-23 アサヒビール ルーキー QB 木下が大活躍



パールボウル2回戦の相手は強豪アサヒビールシルバースター。昨年のリーグ戦では10点差以上で勝利しないとプレーオフ進出の道が絶たれるという条件の中55-6で勝利したが、もともと試合運びも選手能力も非常に高いチームだけあって、自分たちの力を試すには最高の相手だといえる。もちろん前節のようにミスが多発して勝てるような相手ではない。試合はスターターQBに起用された立命館大学出身のルーキー木下が大活躍。ルーキーとは思えない落ち着いたプレーを見せてオフェンを指揮。古谷兄弟やWR 清水らベテラン選手がそれに応え、ベテランと若手がうまくかみ合った。一方ディフェンスはQB 波木やWR 中島、戸倉らワールドカップ代表選手を多数有するアサヒビールオフェンスに苦戦。特にパスで271ヤード進まれるなど、パスディフェンスに課題が残った。

こぼれたボールを相手にリカバーされ、最後は富士通のニーダウンで試合終了。パールボウル決勝への切符はつかめなかった。

昨年の試合に比べ、ライン戦では成長できたものの、勝負どころで相手のパスを止めきれないなど、まだまだフィジカルな部分での課題も残った。



東京ドーム 1万人プロジェクト キックオフ宣言

今シーズン、オービックシーガルズでは、「東京ドーム1万人プロジェクト」を開始しました。

Xリーグは観客動員数からみると、まだまだマイナースポーツと言わざるを得ません。ジャパンXボウルやライスボウルなどのチャンピオンシップゲームにこそ数万人の観客が入りますが、リーグ戦では観客数が1,000人に満たない試合もあります。

昨年、オービックシーガルズはプレーオフ準決勝で敗退しました。試合終了40秒前に16点差を追い付き、延長戦の末3点差でゲームセットとなる試合でした。私たちが全力を出し切ったこの試合には2,544人が集まってくれました。一方、同日ほぼ同時刻に隣のスタジアムで行なわれたサッカー、J2の試合は13,126人の観衆を集めました。2,544対13,126。今までは、誰もがこの差を埋めようとしませんでした。私たちは今、この差を埋めることに本気でチャレンジします。

チーム創設から25周年を迎えるにあたり、私たちはプロフェッショナルのアメリカンフットボールチームを創設するという目標を掲げました。ビジネスとして

考える場合、スポーツチームの「商品」＝試合、であり、プロフェッショナルの運営を目指す以上、試合を観に来てくださる方を増やしていくことは不可欠です。これまでは、チャンピオンシップゲームになれば数万人が来てくださることもあり、リーグ戦の観客数を気にしないで済ませていた部分もありました。しかしながら、試合をする選手たちにとってはリーグ戦も決勝戦も一緒です。どの試合も、全力で戦うことには変わりはありません。もっと多くの人たちに私たちの試合を見てもらいたい、楽しんでもらいたい。そのために私たちはまず東京ドームのリーグ戦で1万人を集めると決めました。

「東京ドーム1万人プロジェクト」。
2008年秋のリーグ戦、東京ドームでの試合に、近年のリーグ戦では異例の1万人を集めるために行動します。通常の試合に、これだけの人に集まっていただくこそ、メディアや社会に認めてもらえるのだと思います。東京ドーム1万人の証人を得て、きっと何かが変わる。何かを変えるために、オービックシーガルズは本気で行動してまいります。

●メルマガ登録も1万人

まずオービックシーガルズを知ってもらうために、メルマガ登録も1万人を目指します。観戦に役立つ情報をお送りするだけでなく、メルマガ登録者には春の試合チケットをプレゼントするなど特典をつけました。

●アンケート実施中

どのようなことをしたら1万人プロジェクトを実現できるのか? 私たちに求められていること、そして私たちが考え、伝えていくべきことは何なのか、もう一度ファンの皆様の声から考えていきたいと思い、試合会場とホームページ上でアンケート調査を実施中です(6/25まで)。皆様のご意見を反映してチーム活動やホームページに生かしたいと考えています。

●1万人プロジェクトページ開設

ホームページ内に1万人プロジェクトページを開設しました。選手インタビュー「オービックシーガルズにいる理由」を掲載中。今後はインタビューのほかに、1万人プロジェクトの情報をお伝えします。

2007-08 シーズン 東京ドーム開催試合の観客数	日時	観客数
	9月5日	2,248
	9月6日	1,818
	9月17日	4,424
	9月17日	1,692
	9月20日	2,797
	9月27日	3,323
	9月28日	2,721
	10月10日	4,151
	10月11日	4,043
Final 6 1回戦	11月19日	5,096
第21回 JAPAN X BOWL	12月17日	17,629
第61回 RICE BOWL	2008年1月3日	34,487

対戦カード	
鹿島ディアーズ	vs. 東京ガスクリエイターズ
富士通フロンティアーズ	vs. オール三菱ライオンズ
オンワードスカイラーズ	vs. I B M BigBlue
オービックシーガルズ	vs. 富士通フロンティアーズ
ルネサスハリケーンズ	vs. R O C B U L L
鹿島ディアーズ	vs. 明治安田パイレーツ
東京ガスクリエイターズ	vs. 富士ゼロックス AFC
鹿島ディアーズ	vs. I B M BigBlue
アサヒビールシルバースター	vs. 富士通フロンティアーズ
鹿島ディアーズ	vs. オービックシーガルズ
松下電工インパルス	vs. 富士通フロンティアーズ
松下電工インパルス	vs. 関西学院大学 Fighters



メインスポンサー

システムインテグレータの **オービック**

オフィシャルスポンサー



オービックシーガルズマンスリーレポート 6月号

発行人/並河 研
編集/渡部 滋之
制作・デザイン/高木 慶太
文・写真/藤田 義生
発行/㈱ OFC
〒104-0061 東京都中央区銀座1-19-16 銀座昭和ビル3F
Tel.03-3567-1313
Fax.03-3567-1312
http://www.seagulls.jp